

### 副市長依命通達による責任不在の予算編成 余りにも無責任な丸山市長と池澤副市長



無所属③ 納田 さおり

#### 無責任極まりない市長の姿勢

**問** 令和3年度西東京市における市税収入は約20億円減収となることが予測され、予算編成方針が非常に重要になるのに、副市長の依命通達で進められようとしている。コロナ禍の時期にあまりにも無責任だ。

**答** 全ての行政課題が解決できたわけではなく、道半ばの課題もあることは認識している。

#### 田無駅南口周辺まちづくり

**問** 東京都の都市計画区域マスタープランにおける田無地域の記述が他地域と比べて全く意欲がない。また、南口自転車駐車場は自転車整備センターとの10年間の管理運営協定から除外すべきで、市長選挙前の1月に長期の協定締結などあり得ない話だ。

**答** 都と市で調整し、まちづくりの方針と整合が図られている。自転車

整備センターとは、南口自転車駐車場も含み年度内に協定を結ぶ。

**意見** 田無公民館・中央図書館を耐震化で古く狭いまま縛りつけ、再建を妨げるのは本当におかしい。

#### 夜間PCR検査拡充を求める

**問** 夜間に発熱した場合、救急外来でPCR検査が受けられないため、治療も受けられない。命にかかわる。

**答** 検査拡充は保健所の管轄だ。



田無駅南口自転車駐車場

### コロナになれないください コロナを甘く見ないください



無所属① 小峰 和美

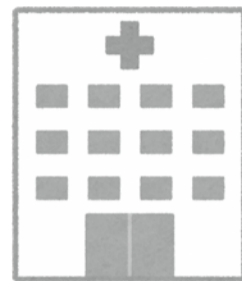
**問** 日本医師会会長が昨今の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて、新規感染者数が全国で過去最多を記録するなどピークを越えて感染者の増加が顕著になったと指摘。また、日本医師会有識者講演勉強会で京都大学教授が「人口密度」「気温」「移動」「コンプライアンス(感染予防意識)」が2次感染の大きな要因になると指摘し、感染対策には思い切った流行対策が必要とも述べた。そこで感染防止対策として最も重要なのは、PCR検査体制の拡充である。必要な検査を可能な限り実施することが感染拡大防止につながる。市民から要望がある場合は自己負担なしで検査を受けられるようにしなければならない。市民の皆様には「コロナになれないください。コロナを甘く見ないください。」と私も話す。

健康に不安を感じたら医療機関に相談、受診することが大事である。

**答** 目の前の課題に対応をしていく。

**問** コロナ禍における教育は大丈夫か。義務教育修了に向けた学力の保証についての考えは。学校行事は貴重な体験活動の機会である。その機会をなくして良いのか。西東京市の教育は大丈夫か。

**答** 心に残る教育活動を展開する。



### 子どもから高齢者まで住み心地よいまちへ！



西東京市議会公明党 大林 光昭

**問** フレイル予防の取り組みや福祉会館の地域利用、地域の活動場所の拡充など、市民の健康維持・介護予防の取り組みを強化すべき。

**答** 健康寿命延伸に向けた介護予防事業に取り組んでいく。

**問** 市内南部地域に中高生の居場所にもなる特化型児童館を配置すべき。

**答** プロジェクトチームを設置して検討しており、年度末を目途に児童館等再編実行計画(案)を策定する。

**問** 子どもたちの学ぶ意欲を支援するため、学習支援事業を実施すべき。

**答** 学習支援検討部会で議論し、学習支援を通じた子どもの居場所の確保に取り組む。

**問** 住居の確保に困難がある方々への支援に取り組むべき。

**答** 不動産関係団体、居住支援団体、社会福祉協議会と連携し、住居確保

が困難な要配慮者の円滑な入居や安定した居住が促進されるよう各種施策を進めていく。

**問** 中央図書館の蔵書収容能力が限界を大幅に超えており、本市に相応しい中央図書館を検討すべき。

**答** 書庫を含め90万点以上の資料を収納できる規模の施設が必要であり、公共施設等総合管理計画を踏まえて検討する。



中央図書館

### 児童生徒に寄り添い、一人一人に光を当てた教育の充実 少人数学級の実現を



西東京市議会公明党 田代 伸之

**問** 住民サービスの向上や行政の効率化のため、行政のデジタル化をできることから進めるべきと考える。

**答** 国の動向を注視しつつ、今後庁内横断的に検討する。

**問** 若者がまちづくりに参画する機会を求めてきた。検討状況は。

**答** 第3次総合計画策定に若い方の参画は必要。今後は若者サミットの取り組みを参考に検討する。

**問** 防災設備を設置している避難広場の開設、管理、運営などの体制づくりを進めるべきと考える。

**答** 地域防災計画の見直しの中で検討する。

**問** 聴覚障がいの方の意思疎通を円滑に支援する、スマートフォンなどを活用した遠隔手話通訳サービスを導入すべきと考える。

**答** 社会参加を支援する体制の拡充

について検討する。

**問** 少人数学級実施への見解は。

**答** 国などの動向を注視し、状況に応じて必要な対応を図る。

#### その他質問

◇認知症支援

◇心の健康 メンタルヘルス・ファーストエイドプログラム支援

◇ひばりヶ丘駅周辺まちづくり

◇GIGAスクール構想



### 歩いて行ける窓口・書かない窓口・お悔やみ窓口等の設置で、市民サービスの向上を！



西東京市議会公明党 佐藤 公男

**問** 令和6年度からスタートする第3次総合計画に、これまで提案してきた、歩いて行ける窓口、書かない窓口、お悔やみ窓口等、市民サービスの向上を位置づけるべきである。

**答** 手続に来た方の目線に立ち、望まれる窓口サービスの実現を図る。

**市民会館跡地は周辺ニーズ調査を**

**問** 市民会館跡地活用では、2回目のサウンディング調査を行った。これまで提案している周辺住民のニーズ調査はどのようになっているのか。

**答** 民間施設の具体的な構想を検討する際に調査を実施する。

**アルミ缶回収・粗大ごみの削減**

**問** 資源物の戸別収集開始から1年、集合住宅では缶が溢れ困っている。アルミ缶の民間回収をさらに啓発すべき。粗大ごみも回収まで再び時間がかかっている。使える家具等、シ

ルバーや民間不用品交換サイトを活用し、粗大ごみの削減を図るべき。

**答** アルミ缶の有償回収はECO羅針盤で周知した。粗大ごみの削減は何かできるか研究する。

#### 田無三中にはスポットエアコンを

**意見** 学校体育館のエアコン設置について、老朽化している田無三中が実施設計に入っていない。最低でもスポットエアコン等を導入すべき。



ごみの減量などの情報を発信する西東京市ECO羅針盤

### 使用済み紙おむつを持ち帰らせない！ 未利用食品の循環を確立し食品ロス削減を！



西東京市議会公明党 藤田 美智子

**問** 感染リスク回避の重要性から、保育園での使用済みおむつを保護者に持ち帰らせないよう求めてきた。財政面の検討状況を問う。

**答** 保育園10園の処分費用は年260万円。受益者負担も含め、財源確保が課題である。

**問** 使用済みおむつは、保育従事者→保護者→清掃事業者の手を介して処理される。時間の経過は感染リスクを高める。市のごみ処理費は25億円。おむつを施設内処理すると一般家庭ごみは減少する。公衆衛生は行政の仕事であり、受益者負担はなじまない。全庁的視点での見解を求む。

**答** ご指摘の全庁的な視点は、今後の検討に当たり配慮する。

**問** 食品ロス削減の運動は、ごみ減量、財政面からも取り組むべき課題。

今後は家庭の協力を求める取り組みが必要。小中学校での環境教育、消費者教育を問う。

**答** 栄養教諭や栄養士と共同し、社会科や給食の中で、家庭での食品ロスにつながるよう啓発を進める。

**意見** 児童生徒の言葉の力を借りて、差し出す人も、受け取る人も、心理的ストレスを感じない運動を確立し「未利用食品循環」の仕組みづくり、環境整備を求める。



食品ロス削減月間ポスター

\*サウンディング調査 市有地などの有効活用に向けた検討に当たって、活用方法について民間事業者から広く意見、提案を求め、「対話」を通じて市場性等を把握する調査。